

～あおもりの未来、技術でサポート～

令和7年度（2025年度）
青森県産業技術センター畜産研究所
本 所 要 覧



青森産技

<https://www.aomori-itc.or.jp>

あおもりの未来、技術でサポート



地方独立行政法人 青森県産業技術センター 畜産研究所
〒039-3156 青森県上北郡野辺地町字枇杷野51
電話0175-64-2231 FAX0175-64-2230
HPは「青森産技」で検索 Youtube公式チャンネルもあります。

主な業務の概要

繁殖技術肉牛部

受精卵移植技術の研究開発

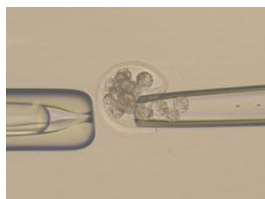
- 受精卵段階でのゲノム育種価解析による早期優良牛生産に関する研究
- E T技術を活用した黒毛和種の種雄候補牛生産



優良牛からの採卵



牛の受精卵



受精卵の顕微操作



一卵性双子生産技術の研究

肥育牛の飼養管理技術に関する試験・研究開発

- あおもり和牛の脂肪の質と早期肥育技術に関する研究
- モバイル回線圏外牛舎における衛星通信の活用技術



衛星通信による監視システム



脂肪組織の採取

日本短角種の種雄牛生産 (産肉能力直接検定)

- 北東北の特定品種である日本短角種の優良雄子牛を直接検定し種雄牛として選抜



1頭ごとに飼料摂取量を調査



生産された種雄牛

中小家畜・シャモロック部

「青森シャモロック」と「あすなろ卵鶏」の育種改良

- 特産地鶏「青森シャモロック」や緑の卵殻で黄身の大きい「あすなろ卵」を生産する「あすなろ卵鶏」の遺伝子解析による育種改良



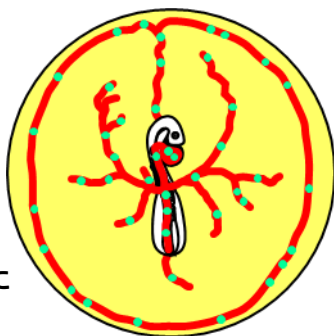
緑の玉子「あすなろ卵」
：卵黄割合が通常鶏より
3%多い

あ詳しくは
「あおもりのこだわり良品商店街」
でネット検索

「青森シャモロック」の父と母
父：横斑シャモ
母：速羽性横斑プリマスロック

● 県産地鶏・特産鶏の保存技術に関する研究開発

- 始原生殖細胞（PGCs）移植キメラニワトリの効率的作出技術



2.5日目胚の血液中に
存在するPGCs
(※イメージ)



写真：青森産技

キメラニワトリ

酪農飼料環境部

● スマート農業の取組

- 自動運転トラクタによる牧草・飼料作物の栽培調製技術
- ICT等を活用した乳用牛の生産性向上技術



自動運転トラクタ



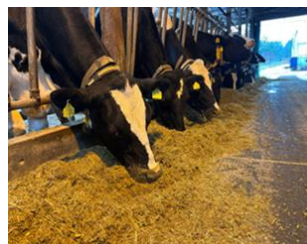
ウェアラブルセンサー
による発情発見

● 乳牛の飼養管理技術に関する研究開発

- 脱薬剤型の乳用牛疾病対策技術
- 自給飼料多給型の飼養管理技術



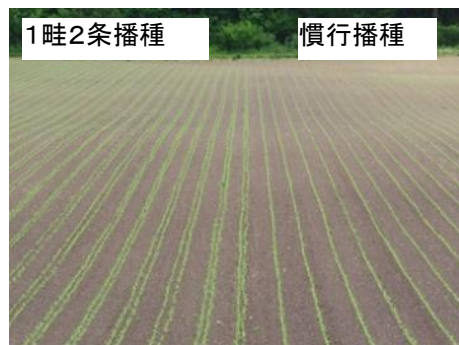
タンデム式ミルクパーラー



トウモロコシサイレージ
多給試験

● 牧草・飼料作物の栽培調製技術の研究開発

- 低投入型・増収型の飼料生産技術
- 優良品種選定試験



高栄養・高収量型
トウモロコシ栽培試験

● 飼料・土壌受託分析業務

分析項目、価格については、畜産研究所ホームページでご確認ください。

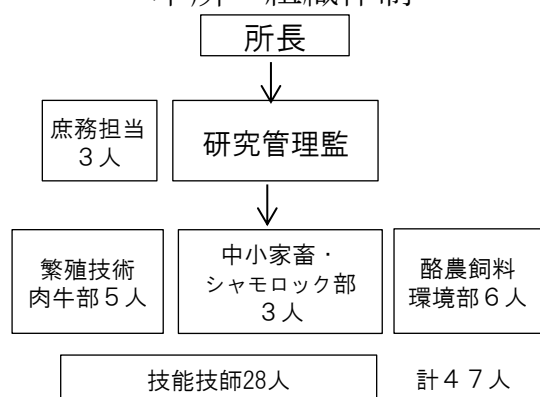
沿革

大正元年(1912) 上北郡七戸町に青森県種馬育成所として創設
 大正13年(1924) 青森県種畜場に改称
 昭和24年(1949) 農林省青森種畜牧場野辺地支場が廃止されたのに伴い、国より同用地と施設全部の委譲を受け現在の野辺地町に移転
 昭和31年(1956) 青森県種畜場と併設して青森県畜産試験場を新設
 昭和40年(1965) 青森県種畜場を発展的に統合廃止し青森県畜産試験場に改組
 昭和45年(1970) 総合庁舎落成
 昭和62年(1987) 養鶏指導所（金木町）及び畜産指導所（森田村）を統合し畜産試験場森田支場に改組
 昭和63年(1988) 養鶏試験場（五戸町）を畜産試験場五戸支場に改組
 平成13年(2001) 森田支場を和牛改良技術センターに改組。五戸支場を廃止し養鶏部を新設。田子町に和牛改良資源センターを新設
 平成15年(2003) 青森県農林総合研究センター畜産試験場に改組
 平成16年(2004) 養鶏部（五戸町）を本場内に移転
 平成21年(2009) 地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所に移行
 平成24年(2012) 和牛改良資源部（田子町）を本所に統合、養豚部門を縮小
 令和6年(2024) 新総合庁舎落成
 現在に至る。

本所 土地区分

区分	面積
総面積 (内訳)	185.9ha
牧草地	63.0ha
飼料用トウモロコシ畑	10.0ha

本所 組織体制



本所 飼養頭羽数 (R7.2.1)

区分	頭羽数	備考
黒毛和種	86頭	繁殖雌牛、子牛、肥育
日本短角種	17頭	種雄牛、繁殖牛、肥育
交雑種	11頭	受卵牛、育成
乳用種	56頭	搾乳牛、育成、子牛
計	170頭	
肉用鶏	1,586羽	青森シャモロック種鶏、コマーシャル鶏
卵用鶏	1,154羽	あすなろ卵鶏種鶏、コマーシャル鶏
計	2,740羽	

アクセス

青い森鉄道 野辺地駅下車 徒歩15分

